

進行性指掌角皮症治療

ご来院ありがとうございます。

進行性指掌角皮症についてご説明させていただきます。

進行性指掌角皮症（手荒れ）は洗剤などによる接触性の皮膚炎です。

治療法は原因を取り除くことと、皮膚炎のために低下した水分保有能を上げることです。

具体的には

- ① 洗い物をする時は、目の細かい綿の手袋をはめ、その上にゴム手袋をして下さい。ゴム手袋はかぶれやすく、また直接触れると蒸れやすく、皮膚によくありません。
- ② 酷いところは、皮膚炎の治療をしなければなりません。
 - A) マイザー軟膏（弱いステロイドの軟膏）
1日2～3回塗布
 - B) 無効ならダイアコート軟膏（もう少し強いステロイド軟膏）
1日2～3回塗布
- ③ ひび割れには、ドレニゾンテープ（ステロイドのテープ）を小さく切り、夜に貼り、朝に剥がして下さい。ひび割れにバンドエイドなどを貼らないで下さい。ひび割れが増悪します。
- ④ ハンドクリームを手全体に塗って下さい。当院独自のハンドクリームを用意しています。ヒルドイド軟膏(50%)＋ザーネ軟膏(50%) ビタミンAを含む血行促進、皮膚保湿用の軟膏です。
1日に数回塗布
※指で紙を擦ると増悪します。
気をつけて下さい。

外用剤が合わず、かぶれることがありましたら、使用を中止し、当院にご相談ください。

芦屋J Sクリニック

院長 水谷次郎

TEL 0 7 9 7 - 3 1 - 3 1 3 1